



企画にあたって

鈴木 亨

(英国レスター大学循環器内科教授)

バイオマーカーとは、生体情報を反映する指標を指す。主に血液検査を対象に、バイオマーカーという表現が用いられるが、ゲノム情報、画像情報も広義のバイオマーカーである。

血液バイオマーカーは従来の診断法としての使い方以外に、予後予測や治療モニタリングの方法として、幅広く臨床の場で用いられるようになってきた。最近では技術の進歩に伴い、多くの蛋白質・ペプチドや代謝物を同時に測定することも可能になりつつあり、単一因子を対象に用いられてきたバイオマーカーという表現が、包括的な解析法としてオミックス解析（プロテオーム、メタボローム、フェノーム）と進化しつつある。また、ゲノムとフェノームを通じた疾患に対する遺伝的リスクと環境的素因を、包括的に解析できるようにもなりつつある。

バイオマーカーの研究と開発、さらに臨床導入や使い方のアップデートとして、本特集を企画した。